

## 大人が変わらなければ 子どもも変わらない



中 米村俊彦さん 右 立脇寿江さん  
Toshihiko Yonemura Toshie Tachiwaki

左 柳 明子さん  
Akiko Yanagi

## 少年問題を考える 鳥取の会



### 若者がダンスで 自己表現できる場を

鳥取駅前の「風紋広場」などで毎晩、ストリートダンスに汗を流す若者たちが、今月の9日から鳥取県で開催される第17回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア鳥取2005」のステージに立つことになりました。

鳥取駅周辺では昨今、若者がたむろし地べたに座り込んで、飲食や喫煙をして、去った後の回りはゴミだらけ。あるときは、からみ合いからケ

ンカとなり、救急車がかけてけるなど、問題となっていてます。「ダンスを踊っている子どもたちは違うんです。夜集まっていますが、彼らは真剣そのもの。ダンスで自己表現できる場所をつくってあげたい」と、このたびの出演の後押しをされた「少年問題を考える鳥取の会」代表の立脇さんは力を込めて話されます。

会のメンバーはご近所同士やPTA仲間、そしてロコミなどで広がり、集まった32歳の独身男性からお孫さんのい

る60歳代までの27人。

### しっかりと受け止める ことが大切

鳥取県の人口妊娠中絶率が全国1位という事実に衝撃を受け、この会に加入した柳さんは、「あふれる情熱を外に発散できないでいる子どもたち、命の大切さを理解のできていない子どもたち。そして、駅にたむろしている若者をただ単に排除したり、見て見ぬふりをするのではなく、本音を聞いて、彼らをしっかりと受け止めてあげることができ

れば」と一言一言かみしめながら話されます。さらに、立脇さんは「情報が氾濫し、子どもたちは本やマンガなどから、いとも簡単に性について誤った知識を身につけてしまう。ボタンのかけちがえをしているように思えてならないんです。学校だけでなく、親が面と向かってもつと子どもたちと話をしないといけないのではと思います」と続けられます。

鳥取をダンスの街に  
次の世代のステップに